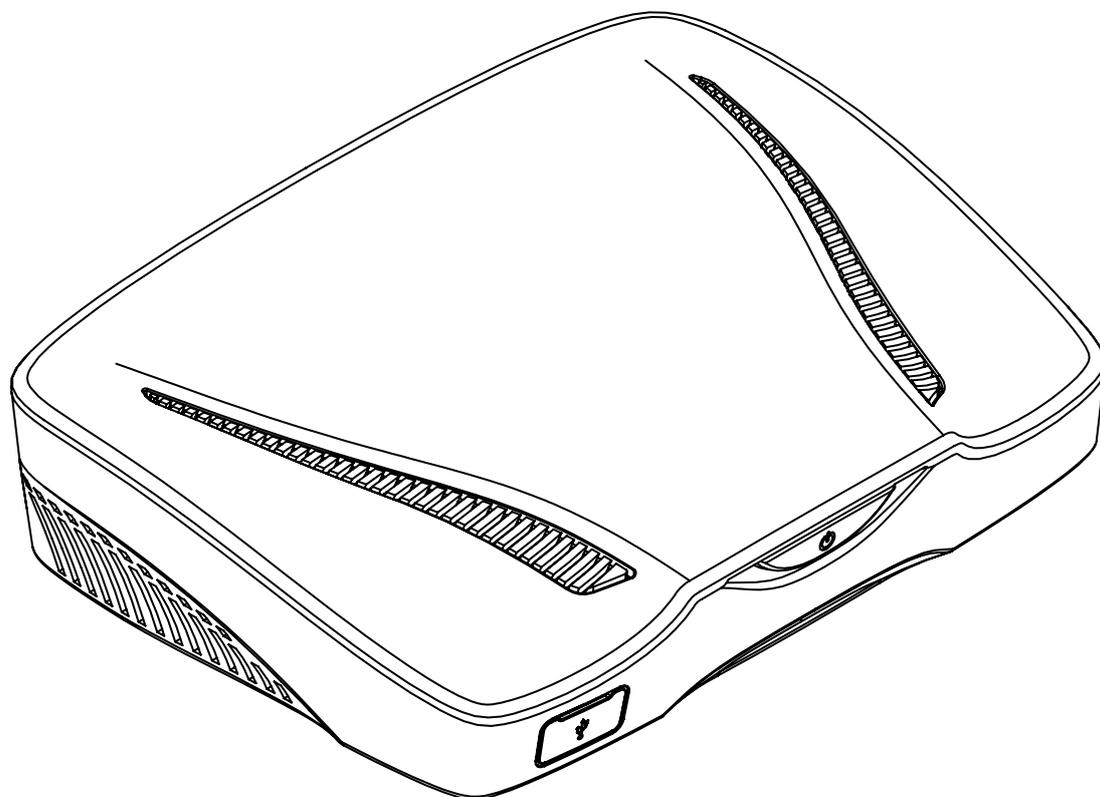


無線対応プレゼンテーション用機器



## wivia 5 取扱説明書 利用者編

4-850-0505 WV-51



ご使用になる前に、この『利用者編』と別冊『管理者編』、そして製品に付属する『クイックマニュアル』の「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

# 目次

はじめにご確認ください .....	03
<b>第 1 章</b>	
<b>wivia アプリケーションを用意する</b> .....	<b>05</b>
1. wivia でできること .....	06
2. wivia の待機画面を確認する .....	07
3. PC を無線 LAN で接続する .....	08
4. wivia アプリケーションをインストールする .....	11
<b>第 2 章</b>	
<b>wivia アプリケーションの使い方</b> .....	<b>15</b>
1. wivia アプリケーションを起動する .....	16
2. wivia アプリケーションの画面の見方 .....	18
3. PC の画面を wivia に投影する .....	22
4. wivia に接続した入力機器を使う .....	25
5. 投影中の画面が遠くて見えにくいとき .....	28
<b>第 3 章</b>	
<b>wivia アプリケーションの高度な設定</b> .....	<b>30</b>
1. 投影方式などを設定する .....	31
2. お気に入りの wivia を複数の PC に登録する .....	32
3. キーボードショートカットで操作する .....	33
4. その他の便利な設定 .....	34
5. 起動 USB メモリーを作成する .....	35
<b>第 4 章</b>	
<b>モバイル端末で投影する</b> .....	<b>36</b>
1. モバイル端末の 2 種類の投影方法 .....	37
2. iOS 端末で投影する .....	38
3. Android 端末で投影する .....	40

wivia® は、株式会社内田洋行の登録商標です。

本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、® などのマークは記載していません。

また、説明の画面は、実際と異なることがあります。

## はじめにご確認ください

### wivia のバージョンをご確認ください

この取扱説明書は、以下のバージョンの wivia について説明しています。

wivia ファームウェア           : 5.3.0.11 以降

wivia アプリケーション       : 5.3.0.19 以降 (Windows 用) 5.3.0.20 以降 (Mac 用)

- wivia ファームウェアのバージョンは、待機画面で確認できます (P.07)。wivia アプリケーションのバージョンは、wivia メニューで確認できます (P.19)。
- iPhone、iPad および Android 搭載のスマートフォン、タブレットでお使いいただく場合は、wivia Presenter の取扱説明書などをご参照ください。
- バージョンが異なると、機能や画面が説明と異なることがあります。

### 最新のサポート情報をご確認ください

wivia サポート Web サイトにて、最新版のファームウェア・アプリケーション、FAQ などの情報を掲載しています。定期的にご確認ください。

▶ <https://www.uchida.co.jp/wivia/support.html>

## コンピューターの構成をご確認ください

### 専用アプリケーション動作環境

Windows	Windows 10 (バージョン 1909) / Windows 8.1
Mac	macOS 10.15 Catalina / macOS 10.14 Mojave / macOS 10.13 High Sierra

2020 年 5 月現在の動作検証環境です。

### 無線 LAN

規格	IEEE 802.11b/g/n 2.4GHz、IEEE 802.11a/n/ac 5GHz (切替利用)
通信距離	最大 20m (ただし障害物や干渉波がない場合)
最大通信速度	300Mbps (2.4GHz)、867Mbps (5GHz)
セキュリティ	WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)

### 有線 LAN

規格	IEEE 802.3 (10BASE-T) / IEEE 802.3u (100BASE-TX) / IEEE 802.3ab (1000BASE-T)
コネクタ形状 / ポート数	RJ-45 コネクタ × 1
最大通信速度	10/100/1000Mbps (オートネゴシエーション)

## モバイル端末の OS をご確認ください

iOS	バージョン 11 ~ 13
Android	バージョン 9 ~ 10

モバイル端末での投影方法については、「モバイル端末で投影する」(P.36)をお読みください。

## 別冊『管理者編』を併せてお読みください

wivia の設置と設定については、別冊『管理者編』をお読みください。

# 第 1 章

## wivia アプリケーションを用意する

wivia の基本機能と wivia アプリケーションのインストールについて説明します。

さらに、PC で無線 LAN を使う方法についても説明します。

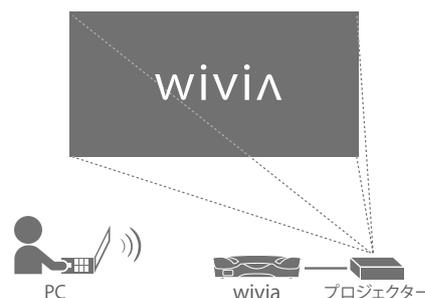
本章は、必ずお読みください。

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| 1. wivia でできること            | P.06 |
| 2. wivia の待機画面を確認する        | P.07 |
| 3. PC を無線 LAN で接続する        | P.08 |
| 4. wivia アプリケーションをインストールする | P.11 |

# 1. wivia でできること

## PC の画面を離れた表示装置に表示できます

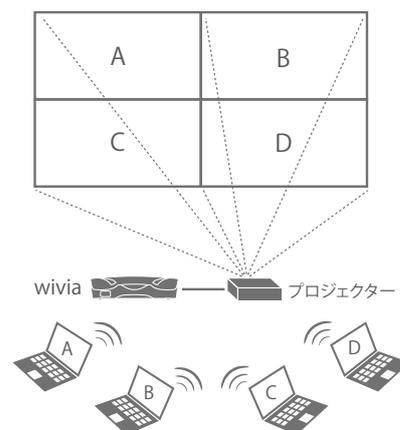
プロジェクターやディスプレイなどの表示装置に wivia を接続することで、有線または無線 LAN 接続されたコンピューター（以降、PC）の画面を表示装置に表示（以降、投影）できます。大画面の表示装置を使用するプレゼンテーションなどに最適です。



## 複数の PC から共有の表示装置に表示できます

表示装置の画面に最大 4 台の PC 画面を分割して同時に投影できます。異なる資料を持ち寄った会議や、参加者それぞれの回答を確認するようなグループ学習に最適です。

(P.23)

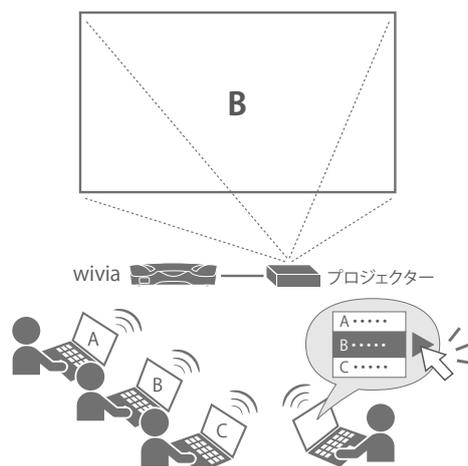


## 司会者を決めて、表示する PC を指定できます

複数の PC 画面を投影する場合は、司会者を決めると便利です（司会者モード）。

表示装置にどの PC 画面を投影するのか指定したり、1 つの PC 画面を全画面に表示するのか、複数の PC 画面を分割して表示するのかを司会者の PC で指定できます。セミナーや授業に最適です。

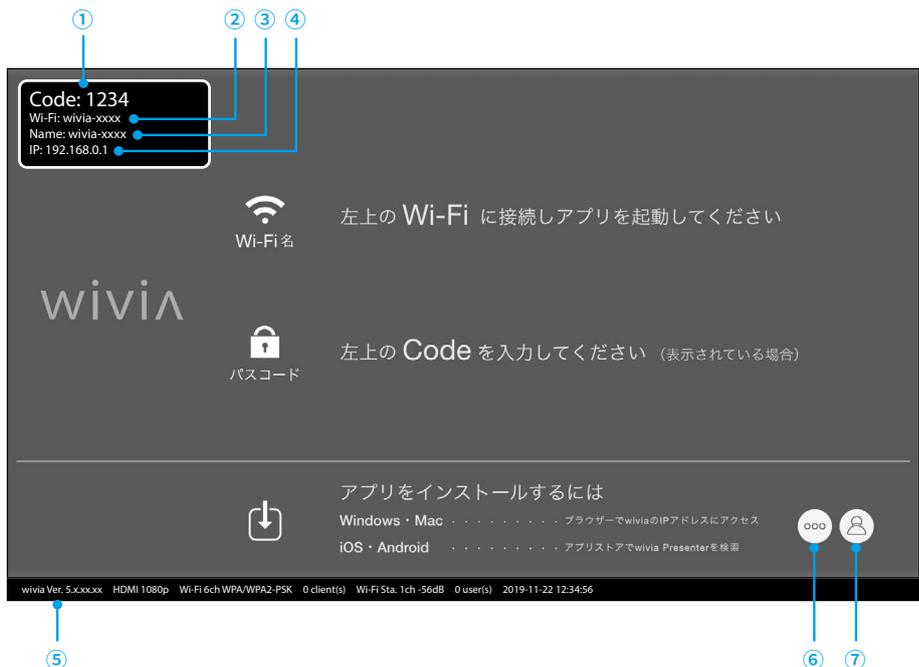
（『管理者編』第2章参照）



## 2. wivia の待機画面を確認する

wivia が起動すると、表示装置に下記のような待機画面が表示されます。

画面左上の各種情報は、wivia に接続する際に必要となります。



項目名	機能	参照先
① Code (パスワード)	投影するときに、wivia アプリケーションに入力します。	→ P.22
② Wi-Fi (Wi-Fi 名)	無線ネットワーク名 (SSID) です。wivia を無線 AP として使うときに指定します。	→ P.08
③ Name (機器名)	複数の wivia を使うとき、wivia アプリケーションで識別できます。	→ P.18
④ IP (IP アドレス)	wivia の IP アドレスです。wivia を発見できないときに指定します。	→ P.20
⑤ ステータス情報	wivia のファームウェアのバージョン、出力解像度、無線 LAN 機能の状態、接続中の PC やモバイル機器の台数、現在の日時が表示されます。	—
⑥ メニューボタン	wivia に接続したマウスなどで、以下を実行できます。 ・ホワイトボードとしての利用 ・起動 USB メモリーの作成 ・司会者モードの開始	→ P.26 → P.35 → 『管理者編』第 2 章
⑦ ユーザー切替ボタン	PC の wivia アプリケーションが接続しているときに表示されます。wivia に接続したマウスなどで、以下を実行できます。 ・投影の開始と終了 ・投影するユーザーの切り替え	→ P.25

## 3. PC を無線 LAN で接続する

wivia またはネットワーク内の無線 AP に、無線 LAN で PC を接続します。無線 LAN の接続操作は、お使いの PC の OS によって異なります。

既にネットワークに接続している場合は、この操作は必要ありません。

### Windows 10 で無線 LAN の接続先を変更する



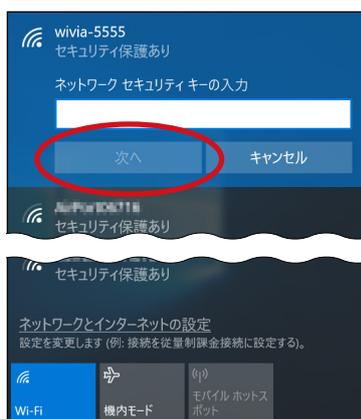
- 1 タスクバーにあるネットワークのアイコンをクリックします。

Wi-Fi（無線ネットワーク）が一覧表示されます。



- 2 接続したい Wi-Fi 名を選択し、「接続」をクリックします。

◆ wivia の Wi-Fi 名は、待機画面に表示されます（P.07）。



- 3 暗号化キー（セキュリティキー）の入力画面が表示された場合は、これを入力し、「次へ」または「OK」をクリックします。

無線 LAN に接続します。

◆ 暗号化キーは、お使いのネットワークの管理者にお問い合わせください。

◆ 続いて「はい」と「いいえ」が表示された場合は、説明をよく読み、お使いの環境にあわせて選択します。

#### アイコンが表示されていないとき

スタートメニューの「設定」で「ネットワークとインターネット」、「Wi-Fi」の順に選択し、「利用できるネットワークの表示」を選択します。手順 2 と同様の画面が表示されます。

## Windows 8 で無線 LAN の接続先を変更する



### 1 スタート画面でチャームを表示し、「設定」を選択します。

- ◆ タッチパネルで操作する場合は、画面右端から左方向にスワイプするとチャームが表示されます。
- ◆ マウスで操作する場合は、画面右上または右下にマウスカーソルを合わせるとチャームが表示されます。



### 2 ネットワークのアイコンをクリックします。

Wi-Fi (無線ネットワーク) が一覧表示されます。



### 3 接続したい Wi-Fi 名を選択し、「接続」をクリックします。

- ◆ wivia の Wi-Fi 名は、待機画面に表示されます (P.07)。



### 4 暗号化キー (セキュリティキー) の入力画面が表示された場合は、これを入力し、「次へ」をクリックします。

「はい」と「いいえ」が表示されます。

- ◆ 暗号化キーは、お使いのネットワークの管理者にお問い合わせください。



- 5 説明をよく読み、お使いの環境にあわせて「はい」または「いいえ」を選択します。

無線 LAN に接続します。

## Mac で無線 LAN の接続先を変更する



- 1 メニューバーにあるネットワークのアイコンをクリックします。

Wi-Fi（無線ネットワーク）が一覧表示されます。

- ◆ アイコンが表示されていないときは、アップルメニューで「システム環境設定」を選択します。「ネットワーク」を選択し、Wi-Fi の設定画面を開き、「メニューバーに Wi-Fi の状況を表示」にチェックを入れます。



- 2 接続したい Wi-Fi 名を選択し、接続します。

- ◆ 接続したい Wi-Fi 名が表示されない場合は、「ほかのネットワークに接続」を選択し、表示される画面でネットワークを指定します。
- ◆ wivia の Wi-Fi 名は、待機画面に表示されます (P.07)。



- 3 暗号化キー（パスワード）の入力画面が表示された場合は、これを入力し、「接続」をクリックします。

無線 LAN に接続します。

- ◆ 暗号化キーは、お使いのネットワークの管理者にお問い合わせください。

## 4. wivia アプリケーションをインストールする

PC に wivia アプリケーションをインストールします。起動 USB メモリーが用意されている場合 (P.35) はインストールの必要はありません。

### wivia アプリケーションなどをダウンロードする

PC を wivia に無線 LAN で接続する場合は、PC の無線 LAN を設定 (P.08) してください。

- 1 wivia の待機画面 (P.07) で IP アドレスを確認します。



- 2 Web ブラウザを起動し、アドレス欄に wivia の IP アドレスを入力します。

wivia の Web ページが表示されます。



- 3 wivia アプリケーションの「インストール」をクリックします。

wivia アプリケーションのインストーラーが、PC に保存されます。

◆ お使いの PC の OS に合わせて、適切なファイルをダウンロードしてください。

② wivia アプリケーションは、wivia サポート Web サイトからもダウンロードできます (P.12)。

② 利用する wivia が 1 台の場合は、wivia アプリケーションの簡易版を利用できます。簡易版を利用するには、手順 3 で「簡易版をダウンロード」をクリックします。

## ドライバーをダウンロードする

お使いの PC の構成、OS、用途によっては、ドライバーが必要になります。wivia のサポート Web サイトから必要なドライバーをダウンロードしてください。

OS	ドライバー名	用途
Windows	拡張表示ドライバー 「Virtual Display Driver」	wivia を PC の拡張画面にする際、一部の PC で必要です (P.31)。
	リモート USB ドライバー 「Remote USB Driver」	wivia に接続した入力機器が通常モードで正常に動作しないときに必要です (P.31)。
Mac	音声転送ドライバー 「Soundflower」	投影中に PC の音声を表示装置に出力する場合に必要です。
	拡張表示ドライバー 「Syphon virtual screen」	wivia を PC の拡張画面にする際に必要です (P.31)。



- 1 Web ブラウザを起動し、アドレス欄に以下の URL を入力します。

▶ <https://www.uchida.co.jp/wivia/support.html>

wivia のサポート Web サイトが表示されます。



- 2 「wivia 5 WV-51」をクリックし、必要なドライバーをダウンロードします。

② 各ドライバーは、wivia アプリケーションの使用中に自動的にダウンロードされることがあります。

② 古いバージョン (バージョン 2.0.0.8 以下) の Virtual Display Driver は、Windows 10 の PC にはインストールしないでください。OS のシステムエラーが発生することがあります。詳しくは、wivia サポート Web サイトの情報を確認ください。

② Syphon virtual screen は、macOS 10.13.4 以上の PC にはインストールしないでください。OS のシステムエラーが発生することがあります。詳しくは、wivia サポート Web サイトの情報を確認ください。

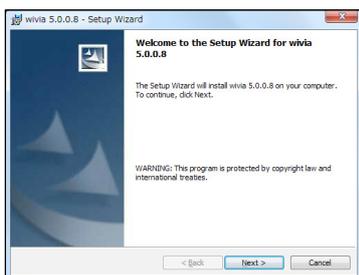
## Windows でアプリケーションなどをインストールする

wivia アプリケーションとドライバーのインストールには、PC の管理者権限が必要です。



wivia\_Windows\_5.x.x.x.msi

- 1 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



- 2 表示される画面に従ってインストールします。

② 簡易版をダウンロードした場合は、上記の操作を行いません。ダウンロードしたファイル（拡張子 .exe）を任意のフォルダに配置します。

② PC の設定によっては、拡張子（.msi と .exe）は表示されません。

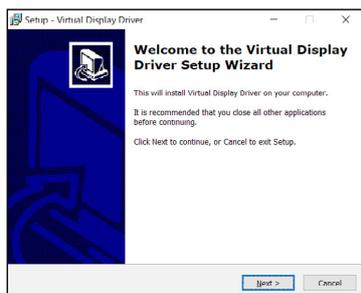
## Windows でドライバーをインストールする

必要に応じてドライバーをインストールします。



- 1 wivia サポート Web サイトからダウンロードしたファイルを、ダブルクリックします。

インストーラーが起動します。



- 2 表示される画面に従ってインストールします。

## Mac でアプリケーションなどをインストールする

wivia アプリケーションとドライバーのインストールには、PC の管理者権限が必要です。



wivia\_Mac\_5.x.x.x.dmg

- 1 **wivia からダウンロードしたファイルをダブルクリックします。**

仮想メディア「wivia」がマウントされて開きます。



- 2 **表示される「wivia.app」を「Applications」にドラッグ&ドロップします。**

wivia アプリケーションが「アプリケーション」フォルダにコピーされます。

② PC の設定によっては、拡張子 (.dmg と .app) は表示されません。

## Mac でドライバーをインストールする

必要に応じてドライバーをインストールします。



- 1 **wivia サポート Web サイトからダウンロードしたファイルを、ダブルクリックします。**

インストーラーが起動します。



- 2 **表示される画面に従ってインストールします。**

インストールが終了すると、Mac が再起動します。

## 第2章

# wivia アプリケーションの使い方

wivia に PC の画面を投影すると、wivia に接続した表示装置（プロジェクター、ディスプレイなど）を、PC に直接接続したように使用できます（P.22）。

さらに、wivia に入力機器（マウス、キーボード、タッチパネルなど）を接続すると、それらを PC に直接接続したように使用できます（P.27）。

本章は、必ずお読みください。

1. wivia アプリケーションを起動する	P.16
2. wivia アプリケーションの画面の見方	P.18
3. PC の画面を wivia に投影する	P.22
4. wivia に接続した入力機器を使う	P.25
5. 投影中の画面が遠くて見えにくいとき	P.28

# 1. wivia アプリケーションを起動する

あらかじめ、PC をネットワークに接続 (P.08) してください。

## インストールした wivia アプリケーションを起動する

あらかじめ PC に wivia をインストール (P.11) してください。



### 1 wivia のアイコンをダブルクリックします。

#### ◆ Windows の場合

デスクトップの「wivia」アイコンをダブルクリックします。

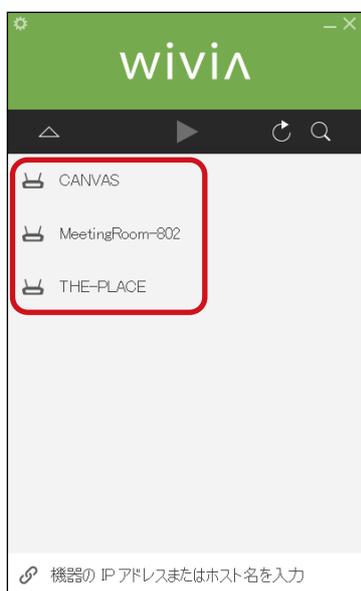
デスクトップにアイコンがないときは、スタートメニュー (Windows 8 ではスタート画面) から「wivia」を選択します。

#### ◆ Mac の場合

「アプリケーション」フォルダ内の「wivia.app」をダブルクリックします。

### 2 wivia アプリケーションが起動し、機器リストに機器名が表示されることを確認します。

◆ wivia 1 台ごとに、機器リストに 1 行表示されます。



② PC の設定によっては、拡張子 (.app) は表示されません。

## 起動 USB メモリーから起動する

起動 USB メモリーの作成方法については、「起動 USB メモリーを作成する」(P.35) を参照してください。



wivia



### 1 PC の USB ポートに起動 USB メモリーを取り付けます。

Windows の場合、設定によっては「自動再生」画面が表示されます。

### 2 「自動再生」画面が表示されたときは、「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックします。

起動 USB メモリーの内容が表示されます。

### 3 起動 USB メモリーを開き、wivia のアイコンをダブルクリックします。

◆ Windows の場合、「wivia」。

◆ Mac の場合、「wivia.app」。

wivia アプリケーションが起動します。

Windows の場合、設定によっては「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

### 4 ファイアウォールに関する警告画面が表示された場合は、管理者権限のユーザーで「アクセスを許可する」をクリックします。

◆ 以降の操作は「インストールした wivia アプリケーションを起動する」(P.16) の手順 2 を参照してください。

② PC の設定によっては、拡張子 (.app) は表示されません。

② お使いの PC によっては、以下の機能を利用できないことがあります。

- ・ 表示装置を PC の追加ディスプレイとして使う機能 (拡張表示)
- ・ 音声付きで投影する機能 (Mac の場合)

これらの機能を利用できない場合は、wivia サポート Web サイトからドライバーをダウンロードし、インストールしてください (P.12 ~ P.14)。

## 2. wivia アプリケーションの画面の見方

### 接続前の画面

wivia アプリケーションでは、次の機能を使用できます。



## ツールバーと入力欄

項目		機能	参照先
	機器リストを非表示	機器リストを隠して縮小画面にします。再表示するには、もう一度クリックします。	→ P.21
	投影開始	接続した wivia に投影を開始します。	→ P.23
	リストを更新	自動検出をやり直し、機器リストを更新します。	→ P.20
	リスト内を検索	機器リストの機器名を、部分一致で検索します。	—
入力欄		IP アドレスまたは機器名を指定して、wivia に接続します。	→ P.20

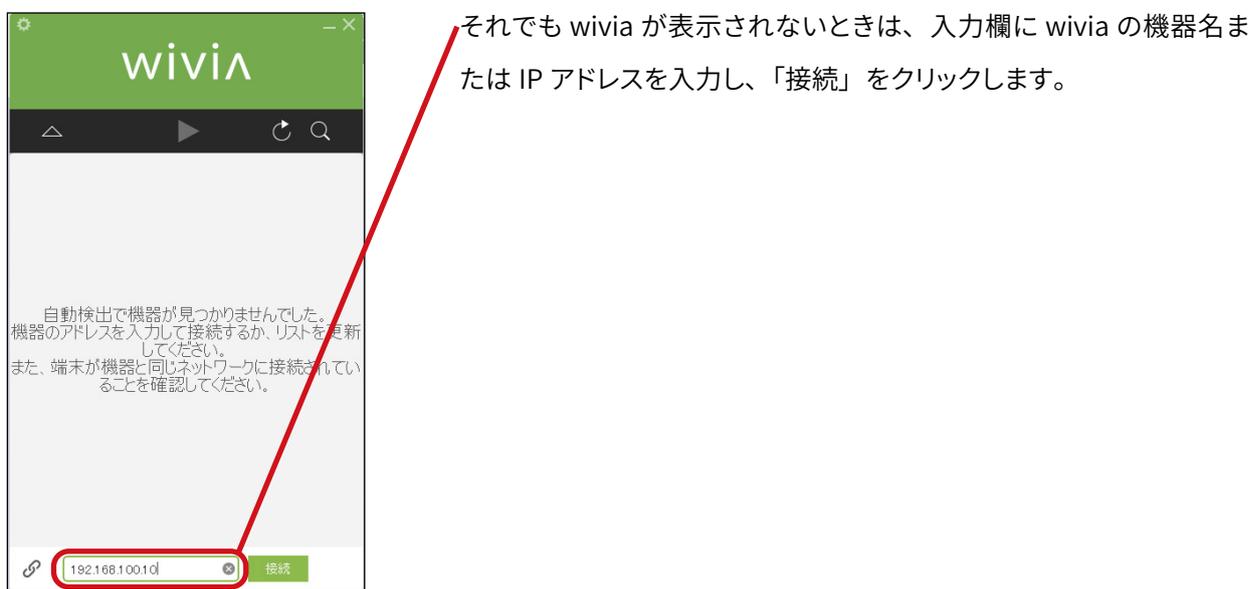
## wivia メニューの項目

Windows では、 をクリックすると表示されます。

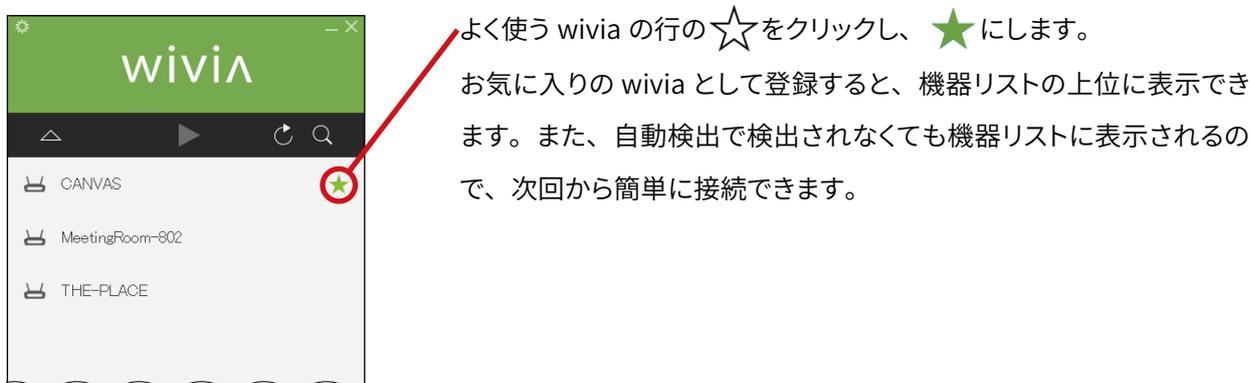
Mac では、メニューバーの「wivia」をクリックすると表示されます。

項目	機能	参照先
設定	設定画面を表示します。	→ P.30
切断	すべての wivia との接続を一括終了します。	→ P.23
このソフトウェアについて	wivia アプリケーションのバージョンなどを確認します。	—
終了	wivia アプリケーションを終了します。	—

### 機器リストに wivia が表示されないとき



### お気に入りの wivia を登録する



## 接続中の縮小画面

wivia に接続 (P.22) してから wivia アプリケーションを縮小画面にすると、以下の操作ができます。縮小画面には、状態表示パネルがある状態と、隠れた状態があります。



項目	機能
状態表示パネル	接続した wivia の機器名と、その状態が表示されます。
投影できます	接続済み。投影できます。
投影中	投影中です。
一時停止	投影した映像が一時停止しています。
 機器リストを表示	縮小画面を終了し、機器リストを表示します。
 レイアウト選択	複数の PC が投影中の場合に、分割表示と全体表示を切り替えます。(P.23)
 投影開始	投影を開始します。
 一時停止 <sup>※1</sup>	投影したまま、映像を一時停止できます。PC の操作を一時的に見せたくないときに利用できます。
 投影停止 <sup>※1</sup>	投影を終了します。wivia との接続は維持します。
 ミュート	PC の音声を、投影中の表示装置や wivia に接続したスピーカーから出力されなくします。
 動画ファイル再生 <sup>※2</sup>	wivia 3・4 へ、PC 上の動画ファイルを選択して再生します。

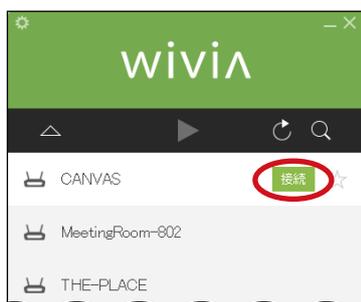
※1：投影を開始すると、投影開始ボタンに代わって表示されます。

※2：wivia 5 には動画ファイル再生の機能がないため、このボタンは操作できません。

## 3. PC の画面を wivia に投影する

PC の画面を投影するには、まず PC を wivia に接続し、次に投影を開始します。

### PC を wivia に接続する



- 1 機器リストで機器名を選び、その隣の「接続」をクリックします。

◆ 機器名は、wivia の画面で確認できます (P.07)。



- 2 パスコードを入力します。

◆ パスコードは、wivia の画面で確認できます (P.07)。

◆ 設定によっては、パスワードの入力画面は表示されません。

wivia に接続し、状態表示パネルに機器名が表示されます。

この段階では、まだ投影は開始されていません。



Mac の場合、PresentSense で検出された機器名を選択しても、wivia に接続できます。

これを使用するには、あらかじめ以下を設定します。

- 「システム環境設定」の「Bluetooth」で、Bluetooth を「入」にする。
- wivia メニューの「設定」の「一般」タブで、「アプリケーション起動時に PresentSense を開始」を有効にする (P.34)。

## 切断するとき

機器リストで機器名の隣の  にマウスを重ねます。すると、 に変化するので、クリックします。  
または、wivia メニューで「切断」を選択します (P.19)。

## 投影を開始する

あらかじめ PC を wivia に接続してから (P.22)、以下の操作を行います。



### 1 ツールバーの をクリックします。

投影が開始されます。

❓ 司会者モードの実行中は、投影できない場合があります。その場合は、司会者が操作します。詳しくは、別冊『管理者編』の第2章をご覧ください。

## 複数の PC が同じ wivia に投影するとき

ツールバーの  を押して縮小画面にしてから (P.19、P.21)、以下の操作を行います。



wivia 5 に接続する場合は、左図のメニューで「自動レイアウト」を選択します。最大 4 台の PC 画面を同時に投影でき、その配置は自動的に調整されます。

自分の PC 画面だけを投影するときは、「全画面投影」を選択します。



wivia 3 または wivia 4 に接続する場合は、左図のメニューで画面のどこに投影するかを選択します。

自分の PC 画面だけを投影するときは、「全画面投影」を選択します。

### 投影を終了するとき

ツールバーの  をクリックします。wivia に接続したままなので、手順 1 の操作で再び投影できます。

### 複数の wivia に同時に投影するとき

PC を wivia に接続する操作 (P.22) を、複数の wivia に行います。この場合、手順 1 の操作で、接続したすべての wivia に同じ PC 画面を投影できます。音声は、最初に接続した wivia にのみ送信されます。

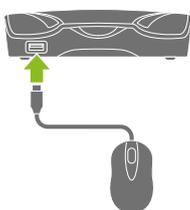
投影を終了すると、すべての wivia で投影が終了します。

## 4. wivia に接続した入力機器を使う

wivia の前面および背面にある USB ポートに入力機器（マウス、キーボード、タッチパネルなど）を接続すると、入力機器で wivia を操作したり、投影中の端末を操作したりできます。

### 投影の開始と終了を wivia で行う

あらかじめ端末を wivia に接続しておけば、wivia の操作で投影を開始したり、終了したりできます。



- 1 wivia の USB ポートに入力機器を接続します。

- 2 端末を wivia に接続します (P.22)。

- 3 wivia で  をクリックします。

接続済みの端末の一覧が表示されます。



- 4 一覧から投影する端末を選び、 をクリックします。

選択した端末の投影が開始されます。



- 5 再び  をクリックします。

接続済みの端末の一覧が隠れます。

wivia に接続した入力装置がマウスの場合は、マウスカーソルがレーザーポインターのように表示されます。

② 手順 3 ~ 4 の操作を繰り返すと、最大 4 台の端末を同時に投影できます。画面は自動的に分割表示されます。

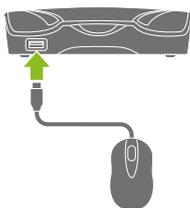
項目		機能
	自動レイアウト	選択した端末の全画面表示を解除します。画面が分割表示になり、直前に同時に投影していた端末が同時に投影されます。
	全画面投影	選択した端末を全画面表示で投影します。
	投影停止	選択した端末の投影を終了します。AirPlay 機能や Google Cast 機能で投影していた端末（タブレットなど）は、自動的に切断されます。
	投影開始	選択した端末の投影を開始します。
	切断	選択した端末を wivia から切断します。

### 操作できないとき

入力機器（マウス、タッチパネルなど）の機種によっては、操作できない場合があります。その場合は別の機器でお試しく下さい。

## ホワイトボードとして使う

wivia に接続した表示装置を、ホワイトボードとして利用できます。この機能は、待機画面でも投影中でも利用できます。

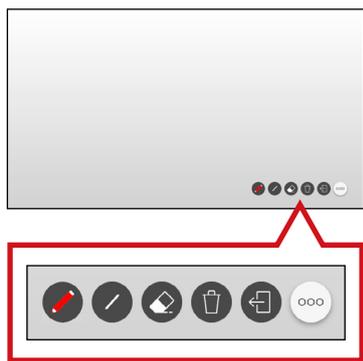


- 1 wivia の USB ポートに入力機器を接続します。



- 2 wivia で  をクリックし、 をクリックします。

ホワイトボードモードになります。



- 3 入力機器を操作し、画面をホワイトボードとして利用します。

項目		機能
	色の変更	マーカーの色を変更できます。
	太さの変更	マーカーの太さを変更できます。
	消しゴム	マーカーによる書き込みを消せます。
	ごみ箱	表示中の内容をすべて削除します。
	終了	ホワイトボードモードを終了します。

### 操作できないとき

入力機器（マウス、タッチパネルなど）の機種によっては、操作できない場合があります。その場合は別の機器でお試してください。

### 投影中の画面に書き込みたいとき

wivia で  をクリックし、 をクリックします。

ホワイトボードモードと異なり、投影中の画面に書き込めます。ただし、太さの変更の機能はありません。

## 投影中の PC を wivia で操作する

wivia に投影したあと、PC を直接操作する代わりに、wivia に接続した入力機器で PC を操作できます。

- 1 wivia で  をクリックします。

表示装置に表示されるカーソルが、レーザーポインター状から通常のマウスカーソルに変化します。

② 操作できない場合は、ほかの入力機器を接続して操作してください。

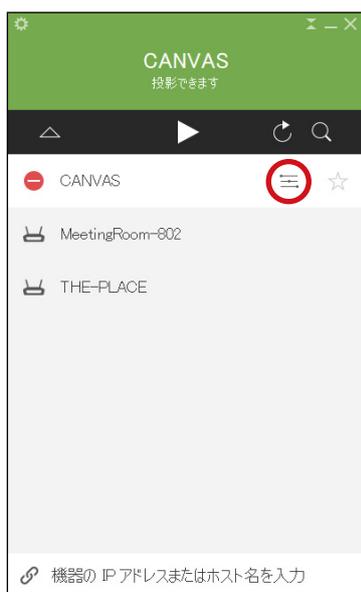
## 5. 投影中の画面が遠くて見えにくいとき

会議などで、投影中の映像を各参加者が自分の PC に表示できます。

- 1 PC を wivia に接続します (P.22)。
- 2 wivia アプリケーションの機器リストで、ホスト名の隣の  をクリックします。

Web ブラウザが起動し、wivia の Web ページが表示されます。

◆ 手順 1 ~ 2 の代わりに、Web ブラウザのアドレスバーに直接 wivia の IP アドレスを入力することもできます (P.11)。



- 3 「WebSlides」の入力欄にパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

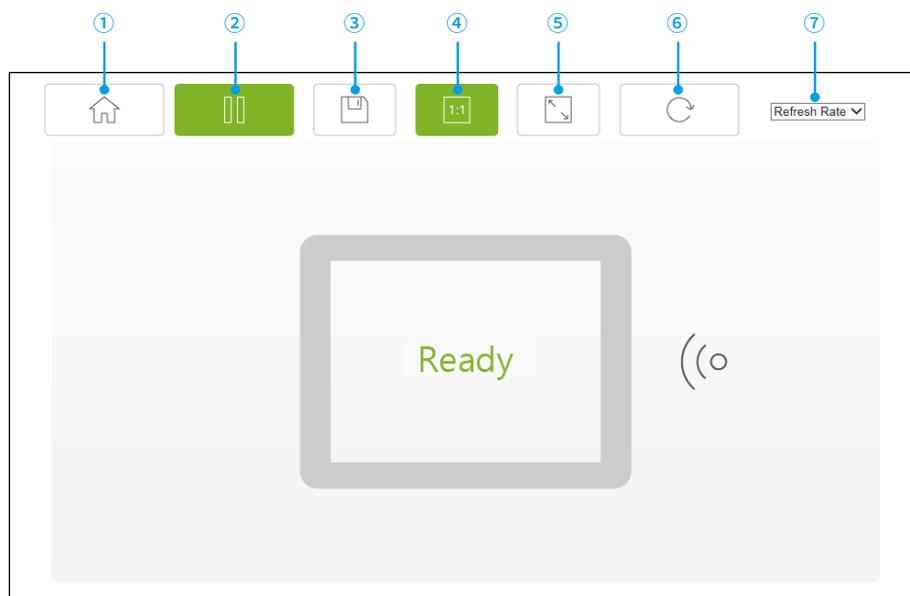
wivia が投影中の場合は、投影中の画面が表示されます。

wivia が待機画面の場合は、「Ready」と表示されます。

◆ パスワードは、管理者にお問い合わせください。

② パスワードが設定されていない場合は、入力欄は表示されず、ボタン名が「プレゼンテーション」になります。

## WebSlides 画面の見方



項目	機能
① 戻る	wivia の Web ページに戻ります。
② 停止	画面の自動更新を停止します。または、再開します。
③ 保存	表示中の画面を画像として保存します。
④ 原寸表示	画面を原寸大で表示します。
⑤ 表示領域に合わせて表示	画面を Web ブラウザの表示領域に合わせて拡大または縮小して表示します。
⑥ 画面を更新	画面を手動で更新します。
⑦ 自動更新の間隔	画面を自動で更新する間隔を、手動（自動更新しない）、2 秒、5 秒、10 秒、30 秒、90 秒の中から選択します。

## 第3章

# wivia アプリケーションの高度な設定

wivia アプリケーションの wivia メニューで設定できる項目、および起動 USB メモリーの作成方法について説明します。

本章は、必要に応じてお読みください。

- |                               |      |
|-------------------------------|------|
| 1. 投影方式などを設定する                | P.31 |
| 2. お気に入りの wivia を複数の PC に登録する | P.32 |
| 3. キーボードショートカットで操作する          | P.33 |
| 4. その他の便利な設定                  | P.34 |
| 5. 起動 USB メモリーを作成する           | P.35 |

# 1. 投影方式などを設定する

投影時の wivia の動作などを設定します。例えば、「モード」を「拡張」に設定すると、手元の PC 画面で説明資料を表示しながら、表示装置にプレゼンテーション資料を投影できます。

- 1 wivia アプリケーションの wivia メニューで「設定」を選びます。

「設定」画面が表示されます。



- 2 「拡張」タブで必要な項目にチェックを入れます。
- 3 「設定」画面を閉じます。

項目	設定値	機能
モード	複製	PC 画面をそのまま投影します。
	拡張	PC 画面の表示領域を拡張し、wivia を追加ディスプレイとして利用します。
投影先の USB 機器での操作 <sup>※1</sup>	通常 (UMT)	wivia の入力機器で PC を操作する際の動作モードです。通常は、こちらを選択します。
	USB シミュレーション (UoIP)	「通常 (UMT)」モードで wivia の入力機器が動作しない場合に選択します。あらかじめリモート USB ドライバー「Remote USB Driver」と入力機器に付属するドライバーをインストールしてください (P.12)。

※1：Mac 用と簡易版の wivia アプリケーションには存在しない項目です (P.11)。

- ② 拡張表示ドライバーがインストールされていない PC で「拡張」を選択すると、ドライバーをダウンロードするか尋ねるメッセージが表示されることがあります。この場合は、「OK」を選択すると拡張表示ドライバーがダウンロードされるので、一度 wivia アプリケーションを終了してから実行してインストールしてください。(P.12～P.14)。なお、一部の PC では拡張表示ドライバーをインストールしても「拡張」モードが動作しないことがあります。この場合は別の PC でお試してください。

- ② wivia アプリケーションのバージョンによっては、Windows 10 と macOS では「拡張」を選択できない場合があります。また、macOS 10.13.4 以上では、「拡張モード」を使用できません。詳しくは、wivia サポート Web サイトの情報をご確認ください。

## 2. お気に入りの wivia を複数の PC に登録する

複数の PC を使う場合、以下の操作で各 PC に同じお気に入りの一覧を登録できます。

- 1 **wivia アプリケーションでお気に入りの wivia を登録します (P.20)。**

- 2 **wivia アプリケーションの wivia メニューで「設定」を選びます。**

「設定」画面が表示されます。



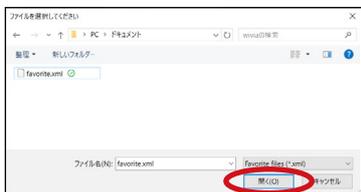
- 3 **「お気に入り」タブの「エクスポート」をクリックし、任意のフォルダにお気に入りの一覧を保存します。**

お気に入りの一覧 (favorite.xml) が保存されます。



- 4 **別の PC の wivia アプリケーションで「設定」画面を表示し、「機器リスト」タブの「インポート」をクリックします。**

ファイルの選択画面が表示されます。



- 5 **手順 3 で保存したお気に入りの一覧 (favorite.xml) を選択し、「開く」をクリックします。**

- 6 **「設定」画面を閉じます。**

お気に入りの一覧 (favorite.xml) が読み込まれ、設定されます。

◆ 続いて、PC ごとに手順 4～6 を繰り返します。

## 3. キーボードショートカットで操作する

投影時によく使う操作にキーボードショートカットを設定できます。これにより、wivia 使用時の操作時間を短縮できます。

- 1 wivia アプリケーションの wivia メニューで「設定」を選びます。

「設定」画面が表示されます。

- 2 「ホットキー」タブで「有効」にチェックを入れ、操作ごとにキーの組み合わせを入力します。



- 3 「設定」画面を閉じます。

## 4. その他の便利な設定

- 1 wivia アプリケーションの wivia メニューで「設定」を選びます。

「設定」画面が表示されます。



- 2 「一般」タブで必要な項目にチェックを入れます。

- 3 「設定」画面を閉じます。

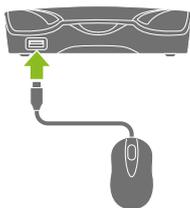
項目	設定値	機能	参照先
ユーザー名	—	PC の名称またはユーザー名を入力します。 wivia の画面に表示されます。	→ P.25
機能	投影した画面のブラウザーからの閲覧を許可	投影中に、ほかの参加者が WebSlides 機能でこの PC の画面を閲覧できるようにします。	→ P.28
	投影先の機器からのリモート操作を許可	投影中に、wivia に接続した入力機器でこの PC を操作できるようにします。	→ P.27
	投影中に画面上に枠を表示	投影中に、PC 上の投影範囲に枠が表示されません。	—
	接続ボタンで投影開始	機器リストの接続ボタンが投影ボタンに変わり、接続と同時に投影できます。	→ P.18、P.22
音声※1	起動時に PC のスピーカーをミュート	wivia アプリケーションの起動中に PC のスピーカーをミュートし、音声が二重に聞こえるのを防ぎます。	—
その他	常に手前に表示	wivia アプリケーションがほかのアプリケーションで隠されないようにします。	—
PresentSense※2	スタートアップ時に PresentSense を起動	wivia アプリケーションの起動時に PresentSense を実行し、付近に検出された wivia に接続できるようにします。あらかじめ、「システム環境設定」の「Bluetooth」で、Bluetooth を「入」にしてください。	→ P.22

※1：Windows のみの項目です。

※2：Mac のみの項目です。

## 5. 起動 USB メモリーを作成する

お手持ちの USB メモリーで起動 USB メモリーを作成しておく、wivia アプリケーションをインストールしていない PC でも、wivia アプリケーションを起動できます (P.17)。



1 wivia の USB ポートに入力機器を接続します。

2 wivia のもう 1 つの USB ポートに、USB メモリーを接続します。

◆ wivia には、前面と背面に USB ポートが 1 つずつあります。

3 wivia で  をクリックし、 をクリックします。

起動 USB メモリーの作成が開始されます。

◆ 「Make PnS Token completely.」と表示されたら、作成終了です。

◆ 「No Valid USB drive.」と表示されたときは、USB メモリーを取り外します。再度接続するか、別の USB メモリーを接続してください。



② 必要なファイル容量は 100MB 以内です。プログラム書き込み後も、残りの容量分は通常の USB メモリーとして使用できます。

② USB メモリーの最上階層に「wivia」という名前のフォルダー、アプリケーション、またはショートカットファイルが存在する場合、起動 USB メモリー作成時に上書きされますのでご注意ください。

## 第4章

# モバイル端末で投影する

wivia にはモバイル端末の画面も投影できます。wivia に接続した表示装置（プロジェクター、ディスプレイなど）に、モバイル端末の画面と同じものを表示できます（P.38、P.40）。

本章は、必要に応じてお読みください。

- |                    |      |
|--------------------|------|
| 1. モバイル端末の2種類の投影方法 | P.37 |
| 2. iOS 端末で投影する     | P.38 |
| 3. Android 端末で投影する | P.40 |

## 1. モバイル端末の 2 種類の投影方法

モバイル端末（iOS 端末と Android 端末）では、以下の投影方法を利用できます。

### 専用アプリケーションを使わずに投影する

モバイル端末の OS には、wivia に投影できる機能があらかじめ備わっています。本書では、この機能について説明します。

iPhone、iPad などの iOS 端末をお使いの場合は、「iOS 端末で投影する」(P.38) をご覧ください。

その他のスマートフォン、タブレットなどの Android 端末をお使いの場合は、「Android 端末で投影する」(P.40) をご覧ください。

wivia 本体の設定やネットワーク構成によっては、この方法で投影できないことがあります。この場合は wivia Presenter をお使いください。

### wivia Presenter で投影する

専用アプリケーションの wivia Presenter を使用すると、さらに高度な使い方を実現できます。

wivia サポート Web サイトにて、wivia Presenter のインストール方法、使い方などの情報を掲載しています。是非ご覧ください。

▶ <https://www.uchida.co.jp/wivia/support.html>

## 2. iOS 端末で投影する

あらかじめ、wivia またはネットワーク内の無線 AP に、無線 LAN で iOS 端末を接続してください。

### 端末の画面をそのまま投影する

画面ミラーリング機能を使って、iOS 端末の画面をそのまま投影できます。



- 1 iOS 端末のコントロールセンターで、「画面ミラーリング」をタップします。

wivia の機器名が表示されます。



- 2 wivia の機器名をタップします。
  - ◆ wivia 1 台ごとに、リストに 1 行表示されます。
- 3 「AirPlay コード」にパスコードを入力し、「OK」をタップします。

◆ パスコードは、wivia の画面で確認できます (P.07)。

◆ 設定によっては、パスコードの入力画面は表示されません。

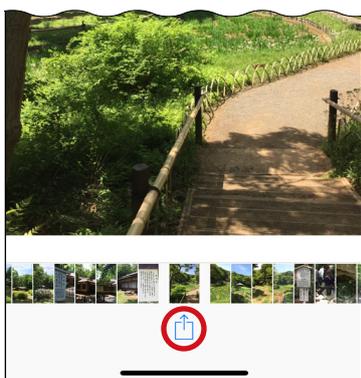
wivia に接続し、投影が開始されます。

### 投影を終了するとき

iOS 端末のコントロールセンターで「画面ミラーリング」をタップし、「ミラーリングを停止」をタップします。

## 写真のみを投影する

iOS 端末の写真アプリでは、AirPlay 機能を使って、写真のみを投影できます。この投影方法の場合、iOS 端末の画面に表示されるメニューやボタンは、wivia に投影されません。



- 1 iOS 端末の写真アプリで、 をタップします。



- 2 「AirPlay」をタップします。

wivia の機器名が表示されます。

- 3 wivia の機器名をタップします。

◆ wivia 1 台ごとに、リストに 1 行表示されます。

- 4 パスコード (AirPlay コード) を入力し、「OK」をタップします。

◆ パスコードは、wivia の画面で確認できます (P.07)。

◆ 設定によっては、パスコードの入力画面は表示されません。

wivia に接続し、投影が開始されます。

### 投影を終了するとき

写真アプリの右上の をタップし、「My Device」をタップします。

## 3. Android 端末で投影する

あらかじめ、wivia またはネットワーク内の無線 AP に、無線 LAN で Android 端末を接続してください。



- 1 Android 端末の Google Home アプリで、画面右下の  をタップします。

「アカウント」タブが表示されます。



- 2 画面を下にスクロールし、「デバイスのキャスト」 — 「画面や音声をキャスト」の順にタップします。

wivia の機器名が表示されます。



**3 wivia の機器名をタップします。**

◆ wivia 1 台ごとに、リストに 1 行表示されます。

wivia に接続し、投影が開始されます。

❓ この方法で投影するときは、wivia 本体の設定にかかわらずパスコードの入力画面は表示されません。

**投影を終了するとき**



Android 端末の Google Home アプリで「画面や音声をキャスト」を表示し、「切断」をタップします。

---

無線対応プレゼンテーション用機器 wivia 5 取扱説明書・利用者編

2017 年 9 月 第 1 版発行

2020 年 7 月 第 4 版発行

発行元 株式会社 **内田洋行**

〒104-8282 東京都中央区新川 2-4-7

<https://www.uchida.co.jp/>

---